平成 28 年３月１日

各　　位

会　社　名　株式会社スマートバリュー
代表者名　代表取締役社長　渋谷　順
（コード番号：9417）
問い合わせ先　取締役経営管理管掌　田中　健作
TEL. 06-6448-1711

地域情報の新しいメディア（Ｖ－Ｌｏｗマルチメディア放送）を活用した防災情報システムの展開について

株式会社スマートバリュー（本社：大阪市西区、代表取締役社長：渋谷　順、以下、当社）は、大阪マルチメディア放送株式会社（本社：大阪市浪速区、代表取締役社長：石井　博之）と協業し、近畿圏において本日本放送を開始するＶ－Ｌｏｗマルチメディア放送（注１）を活用した防災情報システムを開発、自治体に向けて提供いたしますので、お知らせします。

１．サービスの特徴

Ｖ－Ｌｏｗマルチメディア放送は、テレビ放送のデジタル化によって空いた周波数帯を利用した新しい放送メディアであり、輻輳しないデータ通信が地域単位に可能になるという特性から、従来のメディア・通信サービスとは一線を画する、通信と放送を融合したデジタルサービスとして、デジタルサイネージへのデータ配信、運転中のドライバーへの渋滞情報など交通安全情報の配信、地域における防災情報の配信など、都市機能の高度化に伴う新たな情報プラットフォームとして大きな期待が寄せられています。

当社では、自治体等公共機関向けサービスの開発実績と、導入提案から運用に至る豊富なノウハウを活かし、Ｖ－Ｌｏｗマルチメディア放送を活用した新たなクラウド型の地域情報サービスを当社クラウドプラットフォーム上に構築し、既存の防災情報システムを補完する仕組として、自治体に向けて展開いたします。

２．機能の特徴

１）容易な情報入力

自治体から発信する情報は、庁内のパソコンから安易に入力が可能です。クラウドサービスなので、ネットワーク（専用回線もしくは衛星回線）に接続できる環境があれば、他に設備は不要です。

２）既存のシステムとの連携

既に導入されている防災情報システムや、Ｊ－ＡＬＥＲＴ（全国瞬時警報システム）などと連携した情報発信が可能になります。

３）他のメディアとの連携

当社の地域情報クラウドプラットフォーム“ＳＭＡＲＴ　Ｌ－Ｇｏｖ”（注２）と連携し、ホームページやメール配信と組み合わせた情報発信が可能になります。

３．今後の展開等

当社では、システムの普及に向け、自治体向けのデモシステムを構築するなど、提案営業を強化します。

また、今後の各地域でのＶ－Ｌｏｗマルチメディア放送の普及に合わせ、本事業関連各社との連携によって、全国の自治体へと導入を進めてまいります。

（注１）Ｖ－Ｌｏｗ（ブイロウ）マルチメディア放送

Ｖ－Ｌｏｗマルチメディア放送は、地上波ＴＶ局のデジタル完全移行によって空いたＶＨＦ放送帯域のうち、99MHz～108MHz を使用する、新しいデジタル放送サービスです。ＩＰデータキャストが可能で、地域ごとに異なった情報を送信できることが特徴です。

放送法上では移動受信用地上基幹放送と定義されており、「自動車その他の陸上を移動するものに設置して使用し、又は携帯して使用するための受信設備により受信されることを目的とする基幹放送であって、衛星基幹放送以外のものをいう」とされています。

（注２）ＳＭＡＲＴ Ｌ－Ｇｏｖ（スマートエルガブ）

地域の様々な課題を解決するためのクラウドプラットフォームです。ホームページを中心とした情報提供、緊急情報の迅速な伝達、オープンデータの公開、スマートフォンアプリによるひとりひとりへの情報提供など、当社の豊富なノウハウに基づく様々なアプリケーション機能の組み合わせにより、地域の課題に応じたサービス提供を実現します。
ＣＭＳ（ホームページを制作するためのコンテンツ・マネジメント・システム）など主要４サービスは、平成 27 年 12 月末現在、全国で 200 を超える累計契約実績を持ちます。

以　上

【お問い合わせ先】経営管理 Division　戦略 IR グループ
TEL:　06-6448-1711